

令和9年度 総合型選抜 学生募集要項

教育学部

政経学部

共生システム理工学類（名称変更の予定有）

食農学類（名称変更の予定有）

※本学におけるすべての入試はインターネット出願です。
インターネット出願登録だけでは出願手続は完了しません。
（出願書類一式を簡易書留速達で郵送もしくは持参することで、
出願手続が完了となります。）



〒960-1296
福島市金谷川1番地
☎024-548-8064（入試課）
<https://www.fukushima-u.ac.jp/>

福島大学
スマートフォン対応サイト



目 次

I. アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
II. 募集人員等	7
III. 出願資格	8
IV. 出願手続	14
1. 事前準備	
2. インターネット出願登録期間	
3. 検定料の支払い	
4. 出願期間	
5. 出願書類提出先	
6. 出願書類等	
7. 出願書類作成上の注意事項	
8. 受験票の印刷について	
9. 出願状況についての情報提供	
V. 障がい等のある入学志願者の事前相談	19
VI. 選 抜 方 法	20
VII. 合 格 者 発 表	26
VIII. 入 学 手 続	26
1. 入学手続について	
2. 入学辞退者の取扱い	
3. 入学時の大学への納入金	
4. 入学料・授業料の減免について	
IX. 不正行為の禁止について	27
X. 入試情報の公開（開示）について	28
1. 試験問題等の公開について	
2. 入学試験個人成績等の開示について	
XI. 入学志願者の個人情報保護について	28
XII. 東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において 被災された方に対する検定料の免除について	29
XIII. こども性暴力防止法の施行について	30

○ 福島大学案内図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 本要項末

共生システム理工学類と食農学類において名称と募集人員が変更となる予定です。また、食農学類においてコースの名称が変更となる予定です。詳しくは入学者選抜要項をご確認ください。

令和9年度入学者選抜要項



I. アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

福島大学の教育目標

福島大学は、正規課程および課外活動等のあらゆる機会を捉えて、自ら学び、主体的な人生設計と職業選択を行うことのできる自立した人間の育成をめざします。

また、東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故からの学びを活かし、「新たな地域社会の創造」に取り組み、人口減少や高齢化、環境・資源・エネルギー問題などの地域および世界の「21 世紀的課題」を自分事として捉え、複雑かつ困難な課題に果敢に挑戦する人材の育成を目標に掲げます。

そのために「問題基盤型学習」を教育理念としたカリキュラムを備え、確かな専門知識や技術、実践的なスキル、「解のない問い」に挑む態度などを身につけます。

福島大学の求める学生像（福島大学のアドミッション・ポリシー）

福島大学では、以下の要件を満たす学生を募集します。なお、「求める学生像」の具体的内容は、学部のアドミッション・ポリシー（AP）で示します。

1. 〈福島大学の教育目標〉を理解していること
2. 地域や社会の発展に貢献する志をもつこと
3. そのために、①選択した領域の専門知識、②問題を発見し探究する力、③広い教養と知的関心、④グローバルな視野、⑤主体的に多様な人々と協働する力、を自ら向上させようとする意欲があること
4. 福島大学での学士課程教育を受けるにふさわしい基礎的学力、思考力・表現力・コミュニケーション能力、現実の問題や学問への能動的姿勢を持っていること

入学者選抜の基本方針

福島大学では、すべての学部の入学者選抜において、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（以下、「主体性等」）」の「学力の3要素」を多面的・総合的に評価します。

学力の要素 評価方法	〈 学 力 の 3 要 素 〉				
	知 識 ・ 技 能	思 考 力 ・ 判 断 力 ・ 表 現 力		主 体 性 等	
	知 識 ・ 技 能	思 考 力 ・ 判 断 力	表 現 力	意 欲 ・ 関 心 ・ 態 度 (主 体 性)	協 働 性
大学入学共通テスト， 個別学力検査	○	○			
実 技 (実 績 評 価)	○				
小論文，課題論文， 課題レポート	○	○	○		
ペーパーインタビュー	○	○	○	○	○
プレゼンテーション， 口頭試問，面接	○	○	○	○	
グループディスカッション		○	○		○
調 査 書				○	○
推薦書（学校）	○			○	
自己推薦書， 志願理由書			○	○	
探究調書	○	○	○	○	○

総合型選抜と学校推薦型選抜では，下表に記した方法で，学力の3要素を評価します。

総合型選抜

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性等
教育学部（仮称） 地域教員希	小論文，プレゼンテーション，面接		
教育学部（仮称） 探究枠 （国語系，英語系，社会科系， 算数・数学系，理科系， 心理・表現系）	探究調書，面接		
教育学部（仮称） 探究枠 （保健体育系）	探究調書，面接，実技実績評価	探究調書，面接	
政経学部（仮称） I 型	課題レポート（第1次選抜）		
	グループディスカッションおよび面接（第2次選抜）		
政経学部（仮称） II 型	課題レポート（第1次選抜）		
	調査書（評点），語学資格・ 検定基準	グループディスカッションおよび面接（第2次選抜）	
理工学部（仮称）	志願理由書（第1次選抜）		
	課題レポート，面接（第2次選抜）		面接（第2次選抜）
食農学部（仮称）	自己推薦書（第1次選抜），課題論文（第2次選抜）		面接（第2次選抜）

学校推薦型選抜

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性等
教育学部（仮称）	大学入学共通テスト，面接		面接
政経学部（仮称）（A推薦）	調査書（評点）	小論文，面接	面接
政経学部（仮称）（B推薦）	調査書（評点）， 簿記検定基準	小論文，面接	面接
理工学部（仮称）	大学入学共通テスト，面接		面接

教育学部

1. 基本理念・目標

福島大学教育学部は「教育×未来志向×地域」のキーワードのもと、専門的な学び、学際的・探究的な学びを深め、持続可能な未来をつくり出す価値創造的な学びを展開して「福島ならではの教育」を実現できる教員を養成します。教育学部の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

2. 求める学生像

- (AP1) 教員養成課程で学ぶために必要な知識及び技能，思考力，判断力，表現力等を有する人
- (AP2) 現代的教育課題に興味を持ち，時代に相応しい教育のあり方について学ぶ意欲を持っている人
- (AP3) 分野にこだわらない探究的な活動を通し，課題解決に向けて試行錯誤する意欲を持つ人
- (AP4) 協働的な活動を通し，課題解決に向けて試行錯誤する意欲を持つ人
- (AP5) 教員となる強い意志と，教員をめざすのに相応しい倫理観を持っている人

3. 入学者選抜の基本方針

上記の基本理念・目標にふさわしい学生を受け入れるために，基礎的な知識及び技能，思考力・判断力・表現力等の能力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度に加え，探究的・協働的な学びを進める力を多面的に評価して，入学者を選抜します。

福島大学教育学部は7つの系（国語系，英語系，社会科系，算数・数学系，理科系，保健体育系，心理・表現系）と5つのコース（地域課題探究コース，グローバル探究コース，STEAM教育コース，教育臨床コース，インクルーシブ教育コース）から構成されますが，入学者選抜の募集枠や定員は系に対応しています。

政経学部

政経学部では、卒業までに次の知識および能力を身に付けたいという意欲および基礎的な知識・技能を有している学生を受け入れます。

(AP1) 社会課題への関心と主体的な学びへの意欲

社会課題に強い関心を持ち、グローバルかつローカルな視点から理論と実践を結びつけて、解決に向けて主体的に取り組む意欲を持つ人。

(AP2) 論理的思考力と課題解決力を身につけたい人

データやエビデンスを基に論理的に考え、社会課題を多面的に分析し、実践的な解決策を提案できる力を身につけたい人。

(AP3) 多分野の知識を統合し、新しい価値を創出することへの意欲

幅広い学問領域に興味を持ち、多分野の知見を融合して新しいアイデアを生み出すことに意欲的な人。

(AP4) 協働しながらリーダーシップを発揮する力を身につけたい人

多様な人々と協働し、プロジェクトを牽引するリーダーシップを発揮しようとする人。

(AP5) 社会倫理と公正性に基づく責任ある行動への意欲

社会の多様な価値観や異なる文化的背景を尊重し、社会倫理と公正性に基づく責任ある行動をしようとする意欲を持つ人。

上記の意欲に加えて、以下の知識・技能を求めます。

(1) 高校時代までの基礎的な学力

：国語，地歴公民，理科，数学，外国語，情報について，修学に必要な知識を有している。

(2) 読解力・思考力・知識活用力・表現力

(3) 得意分野に関する優れた学力・実績

理工学群

〔共生システム理工学類〕（名称変更の予定有）

1. 共生システム理工学類の教育目標と求める学生像

共生システム理工学類では、共生システムの名の下に、人・産業・環境が共生する社会を構築するために必要な学問を総合的・実践的に学び、21 世紀の社会が抱える諸課題の解決に貢献できる知識・技能と現場応用力を備えた理工系人材を養成することを教育目標に掲げています。共生を科学する新しい教育・研究システムの下で、卒業までに次の4点を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- ・幅広い理工学的基礎知識と確かな専門性
- ・論理的で的確な立案力と決定力
- ・学際的・国際的に実践する力
- ・積極的かつ持続的な貢献意識

共生システム理工学類では、1年生で数学、物理学、化学、生物学、地球科学、プログラミング等の理工系の基礎科目を学ぶとともに、「共生の科学」などの科目で諸課題を学際的・システムの的に捉える力を養います。2年生の前期（第3セメスター）から専門領域名を冠した4つのコース*の中から1つを選択して専門領域を深く学び、3年生の後期（第6セメスター）からは研究室に配属されて、演習や卒業研究を行います。

*4コース：情報理工学コース、メカトロニクスコース、分子デザイン科学コース、環境システムコース

2. 入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

本学類で学び成長するために、以下に掲げる力を有している学生を求めます。

- (1) 高校までに身につけるべき基礎学力
- (2) 理系科目における柔軟な思考力と応用力
- (3) 自然現象や様々な課題を観察し分析する力
- (4) 観察し分析した結果や自らの考えを表現する力

農学群

〔食農学類〕（名称変更の予定有）

1. 食農学類の教育目標と求める学生像

食農学類では、食品産業や農林業の第一線で活躍することや、行政や教育機関などで食品産業や農林業を支えることを目指す意欲を持ち、卒業までに次の4つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- ・農学の専門知識を関連産業や地域社会の実践的な取り組みにつなげる力
- ・異なる専門分野との学際的な交流によってチームプレイを推進できる力
- ・グローバルな科学的知見や国際比較の情報を地域の課題解決に活かす力
- ・温かい眼差しと冷静な分析力によって地域社会への貢献を持続できる力

食農学類では、2年生の後期（第4セメスター）から、食品科学コース、農業生産学コース、生産環境学コース、農業経営学コースのいずれかに所属することになります。各コースは、次のような基礎的・専門的な知識と能力を身に付けた人材の養成を目標としています。

- ・食品科学コース：食品の分析について専門的な知識・技能を身に付けている。優れた食品の製造について知識・技能のポイントを修得するとともに、地域の食の伝統的な強みを活かす筋道を具体的に理解している。
- ・農業生産学コース：果樹・園芸等を含めて作物学の専門的な知識・技能を修得している。病虫害管理や土壌肥料の原理を学ぶことにより、安全な作物生産や環境保全型農業の基本課題を深く理解している。
（名称変更の予定有）
- ・生産環境学コース：森林・農地・水利施設等の生産環境の実態を把握し、管理・活用システムを体系的に理解している。生産環境の修復やICT等の最先端技術導入などの実践的な課題に取り組むこともできる。
（名称変更の予定有）
- ・農業経営学コース：農林業や食品産業の活動を社会科学の観点から分析する知識・技能を修得している。農商工連携などの新潮流の情報に詳しく、協同組合や共有資源の役割についても深く理解している。

2. 入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

本学類での成長を実現するために、以下に掲げる力を有している学生を求めます。

- (1) 高校までに身に付けるべき基礎学力
- (2) 対象を的確に捉える理解力と分析力
- (3) 主体的に課題に取り組み探究する力
- (4) 客観的かつ論理的な思考力
- (5) 自らの見解を的確に伝える表現力
- (6) 常に食と農に関心を寄せる持続力

Ⅱ．募集人員等

学部・学類	コース・系		募 集 人 員		
教育学部	地域課題探究コース グローバル探究コース S T E A M教育コース 教育臨床コース インクルーシブ教育コース	国語系	地域教員 希望枠 20 人	探究枠	5 人
		英語系			5 人
		社会科系			5 人
		算数・数学系			5 人
		理科系			5 人
		保健体育系			4 人
		心理・表現系			10 人
政経学部	産業・地域社会イノベーションコース 経済経営コース 公共政策デザインコース		総合型Ⅰ型 概ね 20 人 総合型Ⅱ型 概ね 20 人		
共生システム 理工学類 (名称変更の予定有)	情報理工学コース メカトロニクスコース 分子デザイン科学コース 環境システムコース		一般枠 24 人 理系教育女性人材育成枠 8 人 (募集人員変更の予定有)		
食農学類 (名称変更の予定有)	食品科学コース 農業生産学コース (名称変更の予定有) 生産環境学コース (名称変更の予定有) 農業経営学コース		地域社会貢献枠 概ね 10 人 実践教育経験枠 概ね 10 人 (募集人員変更の予定有)		

【注意事項】

- 1－1 教育学部の総合型選抜の入学手続き者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は一般選抜前期日程の募集人員に加えます。
- 1－2 教育学部入学者の所属コースは、1年次後期に本人の希望を考慮して決定します。
- 1－3 教育学部の国語系、英語系、社会科系、算数・数学系、理科系、保健体育系では、次のいずれかのタイプでの教員免許の取得が卒業要件となります。
Aタイプ：(小学校一種免許 および 中学校二種免許)
Bタイプ：(中学校一種免許 および 小学校二種免許)
【総合型選抜・地域教員希望枠】では入学時に希望を申請し希望に基づきタイプを確定します。【総合型選抜・探究枠】ではBタイプ：(中学校一種免許 および 小学校二種免許)が卒業要件となります。なお、心理・表現系はタイプに分かれておらず、小学校二種免許の取得が卒業要件となります。
- 2－1 政経学部入学者の所属コースは、1年次後期に本人の希望を考慮して決定します。
- 2－2 政経学部の総合型選抜の入学手続き者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は原則として一般選抜前期日程の募集人員に加えます。
- 3－1 共生システム理工学類の総合型選抜では、合格者が募集人員に満たない場合があります。また、入学手続き数が募集人員に満たない場合でも追加合格は行いません。
- 3－2 共生システム理工学類の総合型選抜の入学手続き者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は一般選抜前期日程または後期日程の募集人員に加えます。
- 3－3 共生システム理工学類入学者の所属コースは、1年次後期末に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します。
- 4－1 食農学類の総合型選抜の入学手続き者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は一般選抜前期日程の募集人員に加えます。
- 4－2 食農学類入学者の所属コースは、2年次前期終了時に決定します。

Ⅲ. 出 願 資 格

〔教育学部〕

地域教員希望枠

次の（１）～（３）のいずれかに該当するとともに、福島県の教員になることを強く希望する者。なおかつ本学部のアドミッション・ポリシーに適合し、本学部で学ぶ強い意欲を持ち、合格した場合、入学することを確約できる者とします。

- （１）高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和 9 年 3 月卒業見込みの者
- （２）通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者および令和 9 年 3 月修了見込みの者
- （３）学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条の規定（第 6 号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和 9 年 3 月までにこれに該当する見込みの者（次の①～⑥のいずれかに該当する者）
 - ① 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者および令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による資格検定試験に合格した者を含む。）および令和 9 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、令和 9 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者（平成 21 年 4 月 1 日に生まれた者を含む。）
 - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 9 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者（平成 21 年 4 月 1 日に生まれた者を含む。）

※ 出願資格（３）⑥により出願を希望する者については、個別審査を行いますので、本学所定の申請書に必要事項を記入し、必要書類を添えて、令和 8 年 9 月 3 日（木）〔午後 5 時必着〕までに提出してください。個別審査の申請に必要な書類については、本学入試課へ問い合わせるか、本学ウェブサイトの「入試情報」（<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>）を参照してください。

探究枠

【国語系，英語系，社会科系，算数・数学系，理科系】

各教科の専門性を深めることを目指すと同時に、探究的な学びに強い関心・意欲があり、主に中学校・高等学校の教員となることを目指す者。

【保健体育系】

スポーツにおける優れた技能を有すると同時に、探究的な学びに強い関心・意欲があり、主に中学校・高等学校の教員となることを目指す者。

全国高等学校体育連盟または日本高等学校野球連盟に加盟している競技において、全国大会またはブロック大会に出場し、プレーした者としてします。

【心理・表現系】

表現やアート、生活の観点から、子どもの心に寄り添った小学校教員となることを目指し、探究的な学びに強い関心・意欲がある者。

【全系共通】

次の（１）～（３）のいずれかに該当するとともに、本学部のアドミッション・ポリシーに適合し、本学部で学ぶ強い意欲を持ち、合格した場合、入学することを確約できる者としてします。

- （１）高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者
- （２）通常の課程による１２年の学校教育を修了した者および令和９年３月修了見込みの者
- （３）学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号）第１５０条の規定（第６号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和９年３月までにこれに該当する見込みの者（次の①～⑥のいずれかに該当する者）
 - ① 外国において学校教育における１２年の課程を修了した者および令和９年３月３１日までに修了見込みの者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和９年３月３１日までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または令和９年３月３１日までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成１７年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和２６年文部省令第１３号）による資格検定試験に合格した者を含む。）および令和９年３月３１日までに合格見込みの者で、令和９年３月３１日までに１８歳に達する者（平成２１年４月１日に生まれた者を含む。）
 - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和９年３月３１日までに１８歳に達する者（平成２１年４月１日に生まれた者を含む。）

※出願資格（３）⑥により出願を希望する者については、個別審査を行いますので、本学所定の申請書に必要事項を記入し、必要書類を添えて、令和８年９月３日（木）〔午後５時必着〕までに提出してください。個別審査の申請に必要な書類については、本学入試課へ問い合わせるか、本学ウェブサイトの「入試情報」（<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>）を参照してください。

〔政経学部〕

総合型Ⅰ型

次の（１）～（３）のいずれかに該当するとともに、好奇心や探究心の豊かな者。なおかつ本学部のアドミッション・ポリシーに適合し、本学部で学ぶ強い意欲を持ち、合格した場合、入学することを確約できる者としてします。

- （１）高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者
- （２）通常の課程による１２年の学校教育を修了した者および令和９年３月修了見込みの者
- （３）学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号）第１５０条の規定（第６号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和９年３月までにこれに該当する見込みの者（次の①～⑥のいずれかに該当する者）
 - ① 外国において学校教育における１２年の課程を修了した者および令和９年３月３１日までに修了見込みの者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和９年３月３１日までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または令和９年３月３１日までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成１７年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和２６年文部省令第１３号）による資格検定試験に合格した者を含む。）および令和９年３月３１日までに合格見込みの者で、令和９年３月３１日までに１８歳に達する者（平成２１年４月１日に生まれた者を含む。）
 - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和９年３月３１日までに１８歳に達する者（平成２１年４月１日に生まれた者を含む。）

※出願資格（３）⑥により出願を希望する者については、個別審査を行いますので、本学所定の申請書に必要事項を記入し、必要書類を添えて、令和８年７月２７日（月）〔午後５時必着〕までに提出してください。個別審査の申請に必要な書類については、本学入試課へ問い合わせるか、本学ウェブサイトの「入試情報」（<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>）を参照してください。

総合型Ⅱ型

次の（１）～（３）のすべてに該当するとともに、一定の英語能力があり、グローバルな視点から社会課題の解決に取り組む意欲をもつ者。なおかつ本学部のアドミッション・ポリシーに適合し、合格した場合、入学することを確約できる者としてします。

- （１）次の①から③のいずれかに該当する者
 - ①高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者
 - ②通常の課程による１２年の学校教育を修了した者および令和９年３月修了見込みの者
 - ③学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号）第１５０条の規定（第６号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者および令和９年３月までにこれに該当する見込みの者（次の①～⑥のいずれかに該当する者）

- ① 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者および令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ③ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ④ 文部科学大臣の指定した者
- ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による資格検定試験に合格した者を含む。）および令和 9 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、令和 9 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者（平成 21 年 4 月 1 日に生まれた者を含む。）
- ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 9 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者（平成 21 年 4 月 1 日に生まれた者を含む。）

※出願資格（3）⑥により出願を希望する者については、個別審査を行いますので、本学所定の申請書に必要事項を記入し、必要書類を添えて、令和 8 年 7 月 27 日（月）〔午後 5 時必着〕までに提出してください。個別審査の申請に必要な書類については、本学入試課へ問い合わせるか、本学ウェブサイトの「入試情報」（<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>）を参照してください。

（2）調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が 3.5 以上の者

（3）以下に指定する①から③の語学検定試験のいずれかにおいて、一定の基準に達している者

①（公財）日本英語検定協会主催 実用英語技能検定（英検）CSEスコア1850点以上

※「英検S-CBT」（「英検2020 1day S-CBT」「英検CBT」を含む。）の受験によって得られた成績を、従来方式と同等に扱います。

②（一財）国際ビジネスコミュニケーション協会主催TOEIC L&R 480点以上

③ETS Japan合同会社主催TOEFL iBT 50点以上

※「TOEFL iBT Home Edition」（「TOEFL iBT Special Home Edition」を含む。）の受験によって得られた成績を、従来方式と同等に扱います。

【共生システム理工学類】（名称変更の予定有）

【一般枠】

次の（１）から（３）のすべてに該当する者とします。

【理系教育女性人材育成枠】

次の（１）から（３）のすべてに該当する女子とします。

【両枠共通】

（１）以下のいずれかに該当する者

- （１a）高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者
- （１b）通常の課程による１２年の学校教育を修了した者および令和９年３月修了見込みの者
- （１c）学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号）第１５０条の規定（第６号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者および令和９年３月までにこれに該当する見込みの者（次の①～⑥のいずれかに該当する者）
 - ① 外国において学校教育における１２年の課程を修了した者および令和９年３月３１日までに修了見込みの者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和９年３月３１日までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または令和９年３月３１日までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成１７年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和２６年文部省令第１３号）による資格検定試験に合格した者を含む。）および令和９年３月３１日までに合格見込みの者で、令和９年３月３１日までに１８歳に達する者（平成２１年４月１日に生まれた者を含む。）
 - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和９年３月３１日までに１８歳に達する者（平成２１年４月１日に生まれた者を含む。）

（２）本学類のアドミッション・ポリシーに適合し、本学類で学ぶ強い意欲を持ち、合格した場合に入学を確約する者

（３）以下のいずれかに該当する者

- （３a）出願時までに実用英語技能検定試験２級以上に合格、または、TOEIC L&R ５５０点以上、TOEIC S&W ２４０点以上、TOEFL iBT ４２点以上いずれかのスコアを有する者
※TOEFL iBTは、「TOEFL iBT Home Edition」（「TOEFL iBT Special Home Edition」を含む。）の受験によって得られた成績を従来方式と同等に扱います。
※TOEIC L&Rは、IPテスト（マークシート方式）も可とします。ただしIPテスト（オンライン方式）は不可とします。
- （３b）高等学校を卒業した者（卒業見込みの者）で、高等学校在学中に「科学に関する探索的活動」に取り組み、出願時までに学外での発表・コンテスト参加等の経験を有する者
- （３c）調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が４．０以上の者で、高等学校において数学「数学Ⅲ、数学Ｃのうち１科目以上」、および、理科「物理（物理基礎を除く）、化学（化学基礎を除く）、生物（生物基礎を除く）、地学（地学基礎を除く）のうち１科目以上」を履修した者または履修している者

※出願資格(1c)⑥により出願を希望する者については、個別審査を行いますので、本学所定の申請書に必要事項を記入し、必要書類を添えて、令和8年7月27日(月)〔午後5時必着〕までに提出してください。個別審査の申請に必要な書類については、本学入試課へ問い合わせるか、本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)を参照してください。

〔食農学類〕(名称変更の予定有)

地域社会貢献枠

次の1から4のすべてに該当する者とします。

1. 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和9年3月に卒業見込みの者、または高等専門学校第3学年を修了見込みの者
2. 以下のいずれかに該当する者
 - ① 福島県内の高等学校等を卒業もしくは卒業見込みの者で、福島県内の農林業、農業関連産業、食品関連産業、農林水産行政機関等の次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者
 - ② 福島県外の高等学校等を卒業もしくは卒業見込みの者で、福島県内もしくは出身県内の農林業、農業関連産業、食品関連産業、農林水産行政機関等で次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者
3. 本学類のアドミッション・ポリシーに適合し、本学類で学ぶ強い意志を持ち、合格した場合は入学することを確約できる者
4. 以下のいずれかを取得している者
 - ① 実用英語技能検定準2級以上
以下の検定結果でも可
IELTS 3.0以上, TEAP 150点以上, GTEC 690点以上, GTEC CBT 510点以上,
TOEIC L&R S&W 385点以上 (L&R 225点以上, S&W 160点以上)
 - ② 実用数学技能検定2級以上
 - ③ 上記同等、同等以上の資格(例 情報処理検定ビジネス1級など) (注)

実践教育経験枠

次の1から3のすべてに該当する者とします。

1. 高等学校専門学科(農業, 工業, 商業, 情報, 水産, 家庭, 看護, 福祉に関する学科), 総合学科もしくは中等教育学校専門学科(農業, 工業, 商業, 情報, 水産, 家庭, 看護, 福祉に関する学科)を令和9年3月に卒業見込みの者または高等専門学校の第3学年を修了見込みの者で、農学を学ぶ強い意欲を持つ者
2. 本学類のアドミッション・ポリシーに適合し、本学類で学ぶ強い意志を持ち、合格した場合は入学することを確約できる者
3. 以下のいずれかを取得している者
 - ① 実用英語技能検定準2級以上
以下の検定結果でも可
IELTS 3.0以上, TEAP 150点以上, GTEC 690点以上, GTEC CBT 510点以上,
TOEIC L&R S&W 385点以上 (L&R 225点以上, S&W 160点以上)
 - ② 実用数学技能検定2級以上
 - ③ 日本農業技術検定3級以上
 - ④ 日本商工会議所簿記検定2級以上
 - ⑤ アグリマイスター顕彰制度 シルバー以上

⑥ 上記同等，同等以上の資格（例 情報処理検定ビジネス1級など）（注）

（注）「上記同等，同等以上の資格」については，本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」（<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>）に掲載している別紙を参照してください。

IV. 出 願 手 続

出願手続については，本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」（<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>）に掲載されている「インターネット出願ガイド」および以下を参照してください。

インターネット出願登録（下記 Step 2）だけでは出願手続は完了しません。

Step 1	出願方法の確認 (15 ページ参照)	出願手続を始める前に，この学生募集要項をよく読んで，内容を確認してください。
▼		
Step 2	インターネット出願登録 (16 ページ参照)	出願登録期間内に，インターネット出願サイトにアクセスして必要な情報を入力してください。
▼		
Step 3	検定料の支払い (16 ページ参照)	インターネット出願サイトの指示に従い，検定料を支払ってください（検定料免除申請を行う場合は支払わないでください）。
▼		
Step 4	必要書類の作成・印刷・提出 (16～18 ページ参照)	インターネット出願サイトおよび本学ウェブサイトから印刷した必要書類と，他のすべての必要書類を出願期間内に本学へ届くよう「簡易書留速達」で郵送もしくは持参してください。
▼		
Step 5	受験票の印刷 (18 ページ参照)	出願が受理された方は，出願期間後にインターネット出願サイトから受験票を印刷できるようになります。入学志願者各自がカラー印刷して，必ず試験当日に持参してください。

1. 事前準備

インターネット出願登録の前に、あらかじめ余裕をもって確認および準備をしてください。	
パソコン等の準備	インターネット出願は、以下の環境で行ってください。 PC 利用時推奨環境 ・Microsoft Edge 最新版 ・Google Chrome 最新版 ・Mozilla Firefox 最新版 ・Apple Safari 最新版 スマートフォン・タブレット利用時推奨環境 ※各 OS の標準ブラウザが推奨環境となります。 ・iOS 12 以上 ・Android OS 8 以上 ・iPadOS 13 以上 ※ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合があります。複数タブでの同時申込操作は行わないでください。 ※ブラウザの「戻る」「進む」ボタン、スマートフォンのスワイプは使用せず、画面内に表示されているボタンをご利用ください。 ※Android のスマートフォンからの操作で Chrome の PC 版からは PDF の表示ができない場合がありますので、モバイル版をご利用ください。 ※表示が崩れたりうまく動作しないときは他のブラウザを使用してください。
メールアドレスの準備およびメールの設定	出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを準備してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。 (@adb.fukushima-u.ac.jp, @e-apply.jp) 出願時に登録したメールアドレスに、以下に該当するメールが送信されます。 ① マイページ登録時のテストメール ② 出願登録情報の入力完了時の自動送信メール ③ 検定料支払完了時の自動送信メール（検定料免除申請を行う場合は送信されません） ④ 受験票がダウンロード可能になった際の通知メール ⑤ 出願手続き全般に係る各種メール ※受験票を印刷するまで、メールアドレスは変更しないでください。
入学志願者本人写真（データ）の準備	インターネット出願登録にあたって、カラーの顔写真データ（jpg）が必要です（受験票に顔写真が掲載されることになります）。 写真は本人確認に使用しますので、インターネット出願サイトにて出願前 3 か月以内に正面向、上半身、脱帽、背景なしで撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。 写真の比率は縦 4 cm×横 3 cm、ファイルサイズは 10MB までです。 以下の【使用できない写真の例】に該当するような、本人確認に支障のある写真の場合は、出願を受け付けられないことがあるので注意してください。 【使用できない写真の例】 不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難、複数名で写っている、画像に加工を施している、現像された写真を再撮影しているもの等。
必要書類等の準備	「6. 出願書類等」（16～18 ページ参照）記載の書類を、出願期間に間に合うようあらかじめ準備してください。
出願書類提出用封筒の準備	出願書類提出のために、市販の角形 2 号封筒（240mm×332mm）を準備してください。
様式印刷の準備（プリンタ、印刷用紙等）	インターネット出願サイトから出力する様式類は、A 4 サイズの印刷用紙にカラー印刷する必要がありますので、カラープリンタおよび印刷用紙を準備してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いませんが、個人情報の取り扱いには十分注意してください。 印字が不鮮明で事実確認ができない場合は、本人に問い合わせをする場合があります。

2. インターネット出願登録期間

教育学部	令和8年10月17日(土)～10月22日(木) 午後4時30分まで
政経学部	令和8年8月30日(日)～9月4日(金) 午後4時30分まで
共生システム理工学類(名称変更の予定有)	令和8年9月29日(火)～10月6日(火) 午後4時30分まで
食農学類(名称変更の予定有)	

3. 検定料の支払い

検定料は **17,000 円** です。インターネット出願サイトの支払い方法を参照して、「クレジットカード」「ネットバンキング」「コンビニエンスストア」「郵便局・銀行ATM」のいずれかの方法で支払ってください(支払手数料が別途必要です)。

【支払期間】

教育学部	令和8年10月17日(土)～10月22日(木) 午後4時30分まで
政経学部	令和8年8月30日(日)～9月4日(金) 午後4時30分まで
共生システム理工学類(名称変更の予定有)	令和8年9月29日(火)～10月6日(火) 午後4時30分まで
食農学類(名称変更の予定有)	

支払期限はインターネット出願登録を完了した日を含む4日間です(出願締切が4日より短い場合、出願締切が優先されます)。

出願書類を受理した後は、いかなる理由があっても検定料は返還できません。ただし次の場合は検定料返還請求ができますので下記に申し出てください。

- ア. 検定料を支払ったが、出願しなかった(出願書類を提出しなかった、または出願が受理されなかった)
- イ. 検定料を誤って二重に支払った

※政経学部、共生システム理工学類、食農学類の第1次選抜不合格者に対しては、本人の請求に基づき、13,000 円を返還します。

なお、請求方法等については、該当者へ個別に通知します。

検定料返還に関する問い合わせ先：

検定料返還手続きに関すること：福島大学入試課

Tel:024-548-8064

返還金の振込に関すること：福島大学会計課出納係

Tel:024-548-8015

※検定料免除について

本学では、令和8年度に行われるすべての入試において、検定料免除の特別措置を行います。

免除の条件については29～30ページの「XII. 東日本大震災(原発事故含む)および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について」を確認してください。

検定料免除申請を行う場合は、出願時に検定料を支払わないでください。

4. 出願期間

教育学部	令和8年10月19日(月)～10月22日(木) 午後5時まで
政経学部	令和8年9月1日(火)～9月4日(金) 午後5時まで
共生システム理工学類(名称変更の予定有)	令和8年10月1日(木)～10月6日(火) 午後5時まで
食農学類(名称変更の予定有)	

5. 出願書類提出先

福島大学入試課 〒960-1296 福島市金谷川1番地 Tel:024-548-8064

6. 出願書類等

入学志願者は、次表の1～5の書類および志願学部・学類指定書類を取り揃え、簡易書留速達で郵送してください。出願期間を過ぎた場合は受理できません。郵送期間を十分に考慮して早めに送付してください。ただし、「4. 出願期間」で定める出願期間最終日前日の発信局消印のある簡易書留速達に限り、期限後に

到着した場合でも受理します。出願期間最終日当日の発信局消印の簡易書留速達は、受理しません。（出願期間内に書類が本学に到着しないことが確実であるため）

持参の場合、入試課の窓口受付時間は平日の午前9時から午後5時までです。

全学部・学類共通

出願に必要な書類	摘 要
1. 入学志願票（◇） 【全員提出】	インターネット出願サイトからA4サイズでカラー印刷してください。
2. 調査書 【全員提出】	高等学校長，中等教育学校長または高等専門学校長が作成したもの（開封無効）。高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定）合格（見込み）者は，調査書に代えて，合格成績証明書（合格見込みの者は，合格見込成績証明書）を提出してください。なお，高等学校等において一部科目を修得し免除された者は，在学期間中の調査書または成績証明書も提出してください。
3. 検定料免除申請書（◆） および添付書類 【※申請者のみ提出】	本学所定の様式 なお，検定料免除申請を行う場合は，出願時に検定料を支払わないでください。
4. 出願書類提出用封筒 【全員提出】	各自で準備した市販の角形2号（240mm×332mm）の封筒に，上記1～3の必要書類で該当するものおよび志願学部・学類指定書類を封入し，簡易書留速達で郵送してください。
5. 出願書類提出用宛名シート（◇） 【全員提出】	インターネット出願サイトからカラーで印刷し，「4. 出願書類提出用封筒」のおもて面にはがれないよう全面のり付けで貼付してください。 出願に必要な書類を封入し，宛名シートの出願者チェック欄において，出願書類に漏れがないことをチェックしてください。

教育学部 入学志願者のみ（地域教員希望枠・探究枠共通）

① 自己推薦書（◆）	本学所定の様式 入学志願者本人が作成したもの。
------------	----------------------------

教育学部 地域教員希望枠入学志願者のみ

① プレゼンテーション資料	「福島県の教員を目指すあなたが大学で取り組みたいこと」をテーマに発表内容をまとめた資料（A4用紙1枚，両面可。ただし3分以内で発表可能な分量とする）。
---------------	---

教育学部 探究枠入学志願者のみ

① 探究調書（◆）	本学所定の様式 入学志願者本人が作成したもの。記載内容については，記入要領を参考に作成してください。
② 事前提出物	探究調書記入要領の末尾の「事前提出物について」を参照し，以下の資料を提出してください。 1. 提出資料 2. 動画・録音（必要な場合） 3. 参考資料（任意）
（保健体育系志願者のみ） ③ 実技実績調査書（◆） および添付書類	本学所定の様式 記載内容および添付書類については，記入要領を参考に作成してください。

政経学部 入学志願者のみ（Ⅰ型・Ⅱ型共通）

① 課題図書に基づくレポート（◆）	本学所定の様式 入学志願者本人が作成したもの。
-------------------	----------------------------

② 志願理由書 (◆)	本学所定の様式 入学志願者本人が作成したもの。
-------------	----------------------------

政経学部 II型入学志願者のみ

① 検定試験関係書類	指定された検定試験の合格証等の写し
------------	-------------------

共生システム理工学類（名称変更の予定有） 入学志願者のみ

① 志願理由書 (◆)	本学所定の様式 入学志願者本人が作成したもの。
② 取得資格を確認できる書類	出願資格(3a)に該当する者は、実用英語技能検定2級以上等の取得資格を確認できる書類の写し。

食農学類（名称変更の予定有） 入学志願者のみ

① 自己推薦書 (◆)	本学所定の様式（A4用紙2ページ） 入学志願者本人が作成したもの。
② 取得資格を確認できる書類	出願資格のうち、実用英語技能検定準2級以上等の取得資格を確認できる書類の写し。

7. 出願書類作成上の注意事項

- 表中の「◇」印の書類は、インターネット出願登録後にインターネット出願サイトからA4サイズでカラー印刷する書類です。インターネット出願登録完了後は、登録内容の修正はできませんので、誤入力のないよう注意してください。
- 表中の「◆」印の書類は、本学ウェブサイトから様式をA4サイズでモノクロ印刷（複数ページの場合は両面印刷）して作成する書類です。
（本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>))
黒か青のボールペンまたは万年筆を用い、楷書で記入してください。自筆作成の指定がない書類は、パソコンによる作成も可能です。
- 押印が必要な書類もありますので注意してください。
- 誤って記入した場合は、誤記入の部分を二重線で消し訂正してください。
- 廃校、被災または保存期間超過による廃棄など種々の事情により出身学校の調査書を得られない者は、卒業証明書および成績証明書（成績通信簿）を提出してください。また、成績証明書も得られない場合には、調査書・成績証明書が発行できない旨の証明書（出身学校長が作成したもの）を提出してください。提出は原本に限ります。原本の返却を希望する場合は「返送用封筒」を各自で準備し、切手を貼り付けて、出願書類に同封してください。また、これらの卒業証明書等が整わない場合には、本学入試課へ問い合わせてください。
- 出願書類に次のような不備のある場合は受理できませんので注意してください。
 - 入学志願票等に、記入漏れまたは誤記入があるもの
 - 出願書類として添付が必要な証明書等が、同封されていないもの
- 出願書類受理後は、出願の取り消し、書類の返却および志望学部（学類）・枠・系等の変更は認めません。
- 出願書類について虚偽の記載があった場合は、入学を取り消すことがあります。
- 証明書記載の氏名と出願時の氏名が異なる場合は、同一人であることが分かる公的な証明書（戸籍抄本等）を別途提出してください。

8. 受験票の印刷について

受験票は、出願期間後にインターネット出願サイトから印刷できるようになります。

カラー印刷し、試験当日に必ず持参してください。

受験票の注意事項を読み、試験が始まる前に点線部で山折りにしてください。

出願時に登録されたメールアドレスへ、受験票の印刷ができるようになったことのお知らせするメールをお送りしますが、プロバイダによりメールが届かない場合でも、試験日の3日前までにインターネット出願

サイトにログインして受験票を印刷してください。

9. 出願状況についての情報提供

本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に出願状況等を掲載します。

V. 障がい等のある入学志願者の事前相談

病気・負傷や障がい等のある入学志願者で、受験上および修学上の配慮を必要とする場合は、出願の1か月前までに本学入試課に申し出てください。試験時間中、病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。

○教育学部、共生システム理工学類および食農学類への志願の際の注意事項

言語、視覚、聴覚および運動機能に障がいのある者は、障がいの程度によっては教育課程の履修が困難な場合がありますので、これらの障がいがある者で不安がある場合は、できるだけ早い時期に本学入試課まであらかじめ問い合わせた上で出願してください。

VI. 選 抜 方 法

【教育学部】

1. 地域教員希望枠

小論文（100点）、プレゼンテーションおよび面接（自己推薦書の評価、および面接における口頭試問の評価を含む。100点）の総合点により判定します。

募集人員は20人です。出願時に、7つの系（国語系、英語系、社会科系、算数・数学系、理科系、保健体育系、心理・表現系）から志望の系を第三志望まで申請することができます（第一志望は必須、第二・第三希望は任意）。全受験者を総合得点順に並べ、得点上位者から受験者の志望に応じて順次、合格者を決定します。

小論文：福島県の教育に関する資料を提示し、その資料を踏まえて考えたことを1,200字程度でまとめます。

プレゼンテーション：「福島県の教員を目指すあなたが大学で取り組みたいこと」をテーマに発表内容をまとめた資料（A4用紙1枚、両面可。ただし3分間以内で発表可能な分量とする）を事前に提出し、それをもとに発表します。資料は出願時に郵送により提出することとし、記載方法について形式は問いません。時間は3分間です。

面接：プレゼンテーションの内容を踏まえ、面接を行います。時間は7分間程度です。

【選抜日程】

試 験 日	時 間	試 験 科 目 等
令和8年11月18日(水)	9：00～10：30	小論文
	11：30～17：00 終了予定	プレゼンテーション・面接

2. 探究枠

教育学部の総合型選抜・探究枠では、出願時までに入学者志願者が行った探究活動を評価します。探究活動は高等学校の授業で実施した活動には限りません。部活動や、学校外での活動も評価の対象となります。

各系の選抜では以下の領域の探究活動を評価します。

【国語系】5人

国語や国語教育の要素を含む探究活動

【英語系】5人

英語や英語教育の要素を含む探究活動

【社会科系】5人

社会科や社会科教育の要素を含む探究活動

【算数・数学系】5人

算数・数学や算数・数学教育の要素を含む探究活動

【理科系】5人

理科や理科教育の要素を含む探究活動

【保健体育系】4人

保健体育や保健体育教育の要素を含む探究活動、または実技実績調査書に記載したスポーツ活動の

成果に関わる探究活動

【心理・表現系】10人

表現やアート、生活のいずれかの要素を含む探究活動

○国語系, 英語系, 社会科系, 算数・数学系, 理科系, 心理・表現系

面接(自己推薦書, 探究調書, 事前提出物の評価, および面接における口頭試問の評価を含む, 100点)により判定します。

○保健体育系

面接(自己推薦書, 探究調書, 事前提出物の評価, および面接における口頭試問の評価を含む, 100点)および実技実績調査(100点)の総合点により判定します。

探究調書: 入学志願者が行なった探究活動について評価します。所定の様式に記載し、提出してください。

※ 保健体育系では実技実績調査書に記載した活動を記載することもできます。記入方法は探究調書記入要領の注意に従ってください。

※ 心理・表現系では音楽や美術に関する継続的な活動を記載することもできます。作品や演奏, コンクールでの受賞歴等については「事前提出物」として, 以下の注意に従って提出してください。

事前提出物: ① 提出資料

入学志願者の探究活動の状況や成果がわかるものを, 郵送により提出してください。用紙サイズはA4とし, 5枚以内(両面可)とします。

内容としては具体的には次のようなものが考えられます。

- ・探究の成果をまとめたポスターや報告書
- ・探究発表会で活用したプレゼンテーションのスライド
- ・活動の様子を撮影した写真

※ 絵画等の「作品」の写真を提出する際は, 写真用紙等できる限り色彩が再現されているものを提出してください。また, 作品名, 素材, 大きさ, 制作年等の情報を資料に記載してください。

② 動画・録音

①とは別に, 以下の場合については動画・録音を提出することができます。

- ・動画の制作自体が探究活動の一環であった場合, その成果物としての動画
- ・演奏・映像作品など「表現」がテーマの場合, その様子

動画・録音の長さとしては5分程度を目安とし, それ以上の長さの動画・録音については原則として冒頭の5分程度を評価の対象とします。

〈動画・録音の提出方法〉

動画・録音を記録したメディア(CD または DVD に限る。)を提出資料に同封して郵送してください。

③ 参考資料

①, ②とは別に, 以下に該当するものがあれば, 証書のコピー等, 内容のわかるものを

同封してください。枚数の制限はありません。

- ・探究活動についての受賞等
- ・探究の内容に関連する各種検定や資格

これらの資料は、選抜において評価の参考とする場合があります。

面接：各系の専門性を深めるための基礎的な能力，探究的な学びへの関心・意欲，および教員となることへの意欲を総合的に評価します。

実技実績調査書：実技実績に基づいて評価します。

【選抜日程】

試 験 日	時 間	試 験 科 目 等
令和8年11月18日(水)	11：30～17：00 終了予定	面接

〔政経学部〕

総合型Ⅰ型

入学者の選抜は、第１次選抜、第２次選抜により行います。

１．第１次選抜

書類審査。課題図書（事前に提示）に基づくレポートと志願理由書によって、30 人程度を選抜します（100 点満点）。調査書は書類審査のための基礎資料として使用します。

課題図書の掲載場所: 本学ウェブサイト (<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>) の「重要なお知らせ」

【第１次選抜合格発表】

令和８年 10 月 15 日（木）午前 11 時に本学ウェブサイトの「入試情報」

(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>) に受験番号を掲載するとともに、本人あてに通知します。

２．第２次選抜

第１次選抜合格者には、課題図書に基づくグループディスカッション（100 点満点）、および志願理由書にもとづく面接試験（100 点満点）を行います。政経学部のアドミッション・ポリシーにおける「入学選抜の際に求める知識・技能・関心」の観点から総合的に評価します。

【第２次選抜日程】

試 験 日	時 間	試験科目等
令和 8 年 12 月 5 日（土）	第 1 次選抜合格者への通知の際に お知らせします。	グループディスカッション
		面接試験

総合型Ⅱ型

入学者の選抜は、第１次選抜、第２次選抜により行います。

１．第１次選抜

書類審査。課題図書（事前に提示）に基づくレポートと志願理由書によって、30 人程度を選抜します（100 点満点）。調査書は書類審査のための基礎資料として使用します。

課題図書の掲載場所: 本学ウェブサイト (<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>) の「重要なお知らせ」

【第１次選抜合格発表】

令和 8 年 10 月 15 日（木）午前 11 時に本学ウェブサイトの「入試情報」

(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>) に受験番号を掲載するとともに、本人あてに通知します。

２．第２次選抜

第１次選抜合格者には、課題図書に基づくグループディスカッション（100 点満点）、および志願理由書にもとづく面接試験（100 点満点）を行います。政経学部のアドミッション・ポリシーにおける「入学選抜の際に求める知識・技能・関心」の観点から総合的に評価します。

【第２次選抜日程】

試 験 日	時 間	試験科目等
令和 8 年 12 月 5 日（土）	第 1 次選抜合格者への通知の際に お知らせします。	グループディスカッション
		面接試験

〔共生システム理工学類〕（名称変更の予定有）

入学者の選抜は、第1次選抜、第2次選抜により行います。

1. 第1次選抜

出願時に提出された志願理由書および出願書類を総合的に評価し、一般枠および理系教育女性人材育成枠あわせて70人程度を第1次選抜合格者とします。なお、入学志願者が70人を超えない場合には、第1次選抜を実施せず、第2次選抜のみとします。

その際は、10月15日（木）に本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に掲載します。

○志願理由書

以下について、指定様式に記載してください。なお、記載は出願者本人による手書きとします。

1. 出願資格（3）に関する経験・実績（出願者がどのように努力してきたのか、取り組みの過程で学んだ（感じた）こと、本学類での学修にどのように活かそうとするのか）
2. 将来の目標、それを実現するための計画
3. 自己PR
4. （理系教育女性人材育成枠のみ）理系教育女性人材育成枠に志願する動機・理由

【第1次選抜合格発表】

令和8年10月15日（木）午前11時に本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に受験番号を掲載するとともに、本人あてに通知します。

2. 第2次選抜

第1次選抜合格者に対して、幅広い分野における科学的なトピックに関する30分程度の模擬授業を行います。授業後に、模擬授業の内容に関する課題レポートの作成を課し、さらに面接を実施します。そして、以下に記した力を総合的に評価し選考します。

○模擬授業 課題レポート

模擬授業の内容を聴き取り理解する力、授業内容についての基礎的な知識や思考力を評価します。模擬授業の内容を踏まえ、設定された課題について思考・判断してレポートにまとめる力や表現力を評価します。

（以下、理系教育女性人材育成枠のみ）

さらに、課題の問いに対する探究力および思考の柔軟性についても評価します。

○面接

面接員との質疑応答を通して、大学生活に対する意欲・関心や自身の考えを伝えるコミュニケーション力・表現力等について評価します。

（以下、理系教育女性人材育成枠のみ）

さらに、志願理由書の「4. 理系教育女性人材育成枠に志願する動機・理由」に基づく面接を行い、高等学校において主体的に活動した事例を踏まえ、「理系教育女性人材育成枠」に志願した動機・理由、主体性等についても評価します。

【選抜日程】

試 験 日	時 間	試験科目等
令和8年11月7日（土）	11：00～11：50	模擬授業 課題レポート
	13：00～16：00 終了予定	面接

3. その他

- ・総合型選抜を志願する女子は、出願する枠を以下の中から選択することができます。
☐ 一般枠 ☐ 理系教育女性人材育成枠 ☐ 一般枠と理系教育女性人材育成枠の併願
- ・一般枠と理系教育女性人材育成枠の併願者が両枠に合格した場合、理系教育女性人材育成枠の合格者とします。
- ・合格者には、入学前教育として大学入学共通テストの受験を求めます。受験を要する教科は、「外国語」、「数学」および「理科」です（数学および理科の科目名等は、下記のとおりです）。また、大学入学共通テスト出願時に「成績の閲覧を希望する」を選択してください。そして、受験後に成績の閲覧期間内に該当ページを印刷し、入試課まで提出してください。ただし、大学入学共通テストの成績は合否の判定には用いません。

「数学」：数学①「数学Ⅰ，数学A」および
数学②「数学Ⅱ，数学B，数学C」

「理科」：「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」，「物理」，「化学」，「生物」，
「地学」から2

*「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、物理基礎，化学基礎，生物基礎および地学基礎の4つを出題範囲とし，そのうち2つを選択解答してください。

*「理科」については，「基礎を付した出題範囲」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む出題範囲と科目を選択することはできません。

【食農学類】（名称変更の予定有）

入学者の選抜は，第1次選抜，第2次選抜により行います。

1. 第1次選抜

書類選考とします。

以下の書類により，熱意と適性の評価を行います。

- ・自己推薦書（本学様式）
- ・調査書（食農学類への適性を判断するため使用）

【第1次選抜合格発表】

令和8年10月15日（木）午前11時に本学ウェブサイトの「入試情報」

(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>) に受験番号を掲載するとともに，本人あてに通知します。

2. 第2次選抜

第1次選抜合格者に対して，課題論文を課すとともに面接を実施し，総合的に評価します。

（課題論文）

地域社会貢献枠：農学と地域社会のつながりに関する配付資料について，800字以内の論述を求め，理解力，思考力，表現力を総合的に評価します。

実践教育経験枠：農学に関する配付資料について，自分自身の経験と関連付けた800字以内の論述を求め，理解力，思考力，表現力を総合的に評価します。

(面接)

地域社会貢献枠：自己推薦書の内容を中心に質問を行います。地域社会での経験や関心を発展的な取り組みにつなぐ意欲を把握し、基礎学力、勉学への積極性、コミュニケーション能力等とあわせて総合的に評価します。

実践教育経験枠：自己推薦書の内容を中心に質問を行います。実践教育の経験を発展的な取り組みにつなぐ意欲を把握し、基礎学力、勉学への積極性、コミュニケーション能力等とあわせて総合的に評価します。

【選抜日程】

試験日	時間	試験科目等
令和8年10月24日（土）	10：00～11：30	課題論文
	13：00～17：00 終了予定	面接

(注) 1. 集合時刻等については、出願期間終了後、本学ウェブサイトの「入試情報」

(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>) でお知らせします。

天候や公共交通機関の遅延・予定外の運休等の影響により、試験時間の繰り下げや試験の延期等を行う場合は、本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>) でお知らせします。

2. 試験場は福島大学（福島市金谷川1番地）です。

本要項末の福島大学案内図を参照してください。試験室および控室等については、試験当日、受験に関する掲示板に掲示します。

VII. 合格者発表

教育学部	令和8年11月26日（木）	午前11時
政経学部	令和8年12月10日（木）	午前11時
共生システム理工学類 （名称変更の予定有）	令和8年11月12日（木）	午前11時
食農学類 （名称変更の予定有）	令和8年11月5日（木）	午前11時

合格者の発表は本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>) に受験番号を掲載します。合格者には「合格通知書」および入学に必要な手続等を記載した「入学手続の手引き」を郵送します。

電話等による可否の問い合わせには応じません。

VIII. 入学手続

1. 入学手続について

合格者は、下記期間に郵送により入学手続を完了してください。詳細は、合格者に送付する「入学手続の手引き」を確認してください。

令和8年12月11日（金）～18日（金）午後4時必着

- (注) 1. 指定期日までに入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を失います。
2. 入学手続が完了した後は、他の国公立大学（※独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除く）を受験しても合格者となりません。

※公立大学協会のウェブサイト (<https://www.kodaikyo.org/>) 参照

2. 入学辞退者の取扱い

原則として、総合型選抜に合格した者は入学を辞退することは認められません。ただし、特別な事情により入学を辞退する場合には、事前に本学入試課に電話で連絡し、令和8年12月18日（金）午後5時まで（必着）に「入学辞退願（任意の様式により、辞退理由（具体的に理由を付す）、入学を辞退する学部・学類、氏名、受験番号、願出日付を記入し、本人が署名したもの）」を提出してください。

3. 入学時の大学への納入金

入学料（予定額）	各学類・学部	282,000円
----------	--------	----------

(注) 1. 上記の入学料は予定額です。入学料の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

2. 入学手続完了後に、入学を辞退した場合（留年等により入学資格を満たせなくなった場合を含む。）は、入学料の返還はできません。

(参考) 1. 授業料について

授業料は、入学後に口座引落により納入していただきますので、入学時に納入する必要はありません。なお、授業料の金額（予定額）は次表のとおりです。授業料の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

授業料（予定額）	各学類・学部	前期分	267,900円
		後期分	267,900円
		合計（年額）	535,800円

2. 諸会費について

入学時に必要となる入学料以外の諸会費（「学生会」「後援会」「同窓会」「校友会」の会費等）については「入学手続の手引き」送付の際にお知らせします。

4. 入学料・授業料の減免について

非課税世帯、非課税世帯に準ずる世帯、および扶養する子が3人以上の多子世帯の方は、日本学生支援機構給付奨学金（高等教育の修学支援新制度）によって、家計の所得に応じた支援区分で入学料、授業料が減免されます。

また、支援区分が第Ⅰ区分から第Ⅳ区分の場合は奨学金が毎月給付されます。

その他、激甚災害に遭われた方で、修学支援新制度の対象とならない方には、家計を確認したうえで入学料、授業料が減免される本学独自の制度があります。

IX. 不正行為の禁止について

(1) 不正行為に該当する行為および罰則について

試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用する等の行為は、不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示

され、それ以後の受験はできなくなります。また、不正行為については、警察に被害届を提出する場合があります。

(2) 試験時間中に使用できないもの

試験時間中に、次のものを使用してはいけません。

- ① 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、イヤホン（補聴器等の管理医療機器除く）、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類

※携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。

※試験時間中、病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。

- ② 下敷、コンパス、定規等の補助具

※これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとは不正行為とすることがあります。

X. 入試情報の公開（開示）について

1. 試験問題等の公開について

教育学部の小論文および食農学類の課題論文については、問題および出題意図を、共生システム理工学類の模擬授業・課題レポートについては、テーマと概要を合格者発表後に公開します。

2. 入学試験個人成績等の開示について

入学試験個人成績、出願書類として提出された調査書を本学の定める方法により開示します。

- ① 開示期間 令和9年5月6日（木）～5月31日（月）

- ② 開示方法 令和9年4月上旬、本学ウェブサイトに掲載します。

<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/kaizi.html>

- ③ 開示内容

ア．個人成績について

教育学部	地域教員希望枠	小論文、プレゼンテーションおよび面接の成績
	探究枠	【国語系、英語系、社会科系、算数・数学系、理科系、心理・表現系】 面接の成績 【保健体育系】 面接および実技実績調査の総合点
政経学部		書類審査、グループディスカッション、面接試験の成績の総合点
食農学類（名称変更の予定有）		課題論文および面接の成績

イ．調査書については、「指導上参考となる諸事項」、「総合的な探究の時間の内容・評価」および「備考」欄の記載事項以外の部分の複写物（高校在学時に交付される通知表と同等のもの）

XI. 入学志願者の個人情報保護について

本学では、提出された出願書類や入学試験により個人情報を取得します。取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」および「国立大学法人福島大学個人情報保護管理規則」に基づき、下記の目的でのみ利用し、その保護に努めます。

- 入学者選抜に関する業務（統計処理等の付随する業務を含む。）に利用します。
- 入学手続に関する業務に利用します。
- 入学手続完了者にあつては、入学後の修学指導業務および学生支援業務、授業料徴収業務、入学者の教育方法の改善に利用します。また、入学料免除、授業料免除および各種奨学金申請（応募）者にあつては、入学試験の成績等を当該免除者または奨学金貸与者の選考判定等に利用する場合があります。

なお、総合型選抜の入学志願者にあつては、大学入学共通テストの成績を取得する目的で、独立行政法人大学入試センター（以下、「大学入試センター」といいます）へ、総合型選抜の合格者にあつては、国公立大学の分離分割方式による合格および追加合格決定業務を円滑に行うため、大学入試センターおよび併願先の国公立大学に個人情報の一部が送達されます。

また、出願手続に関する業務を円滑に進めるため、業務の一部を外部に委託しています。委託先に対して、必要な個人情報を提供しますが、委託先との間で適切な取り扱いに関する契約の締結をはじめ、適切な監督を行います。

Ⅻ. 東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について

本学では、東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故、および平成23年度以降において豪雨災害等の激甚災害で被災された方の経済的負担を軽減し、被災受験者の進学機会の確保を図るために、令和8年度に行われるすべての入試において、検定料免除の特別措置を以下のとおり行います。

(1) 対象者

出願期間終了までに、次のいずれかに該当すると認められた本学入学志願者については、検定料を全額免除します。なお、入学志願者が被災していない場合は免除の対象になりません。

- ① 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方、または平成23年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で、入学志願者または主たる家計支持者が居住していた家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失の罹災と認定された方
- ② 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方、または平成23年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で、主たる家計支持者が死亡または行方不明となった方
- ③ 東京電力福島第一原子力発電所事故を受けて設定された「警戒区域」、「計画的避難区域」、「緊急時避難準備区域」、「特定避難勧奨地点」に平成23年3月11日時点で入学志願者または主たる家計支持者が居住していた方で、これに伴い避難を余儀なくされた方

上記免除対象者の詳細については以下の表をご確認ください。

区 分	検定料免除の可否（可は○、否は×で示しています）				
	全 壊	大規模半壊	半 壊	流 失	一部損壊
①家屋の全・半壊	○				×
②主たる家計支持者が死亡または行方不明	主たる家計支持者 ○				主たる家計支持者以外 ×
③原発事故による影響	警戒区域	計画的避難区域	緊急時避難準備区域	特定避難勧奨地点	それ以外の地域
	○				×

注：区域については、再編前の区域としています。

(2) 必要書類

検定料免除を申請するにあたって必要な書類は以下のとおりです。

① 検定料免除申請書（本学所定の様式）

本学ウェブサイト「入試情報—募集要項」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>)参照

② 次に挙げる証明書のいずれか1つの写し

上記（1）①に該当する場合、「市町村長が発行する罹災証明書」

上記（1）②に該当する場合、「主たる家計支持者の死亡または行方不明を確認できる書類」

上記（1）③に該当する場合、「避難している（いた）ことが確認できる書類」（自己申立書でも可）

(3) 必要書類の提出方法と提出期間

出願時に出願書類と合わせて提出してください。

検定料免除申請を行う場合は、出願時に検定料を支払わないでください。

※出願期間後の申請は認められませんので、ご注意ください。

※諸事情により出願時に(2)②の証明書等を提出できない場合は、事前に本学入試課までお問い合わせください。

XⅢ. こども性暴力防止法の施行について

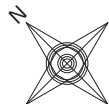
学校等における実習に参加する実習生について性犯罪前科の有無の確認が求められる場合があります。

留意点を以下の教務課ホームページに掲載しています。

https://kyoumu.adb.fukushima-u.ac.jp/pdf/index/kodomo_seibouryoku.pdf



福島大学案内図



入試課 (1F)

受験に関する掲示板

試験室案内など詳細については、中央広場の「受験に関する掲示板」に掲示します。

中央広場

陸上競技場

野球場

ゴルフ練習場

JR金谷川駅

かな や がわ
JR東北本線金谷川駅下車
中央広場まで徒歩約10分



国立大学法人

福島大学

Fukushima University